

2022年度若手時限研究会計画募集

1. 募集内容

2022年度の日本神経回路学会若手時限研究会を下記の通り新たに募集します。将来の研究の進展を先取りする、新たな発想に基づいたチャレンジングな研究会を是非ご提案下さい。若手時限研究会は、若手の参加者を対象とした新しい皆様からの積極的なご応募をお待ちしております。

■ 対象：2022年1月～12月初旬までに実施する研究会1件

実施形式はオンサイト・オンラインのどちらでも構いません。

本年度より、日本神経回路学会が契約している Microsoft Teams を利用したオンライン研究会を開催することも可能です。ご利用を希望される方は、その旨を実施計画書に明記してください。Teams 利用にあたりご不明な点は、6 問い合わせ先にご連絡下さい。

■ 応募条件：若手の参加者を対象とした研究会であること。世話人も同じく若手であることが望ましいが、必須条件とはしない。講演者などは必ずしも若手である必要はない。若手とは40代程度までを指すものとする。

■ 補助金額：30万円以内

■ 応募締め切り：2021年12月5日（日）

■ 応募先：計画提案書に必要事項を記入の上、emailにて

jigenn_query@umin.ac.jp まで送付して下さい。万一、提出後1週間経過しても受領の返事がない場合は、その旨ご連絡下さい。

■ 採否の通知：2021年12月末までにe-mailにて通知。

2. 提出書類

若手時限研究会計画提案書を提出して頂きます。以下の説明に従って記入して下さい。計画の完成度も評価の対象となりますので、ご留意下さい。

(ア)実施計画

計画する研究会の内容について、時期、日数、参加対象者、参加予定者数、実施形式（オンサイト研究会、オンライン研究会）を具体的に書いてください。外部財源（他学会からの助成、科研費等）も利用する研究計画の場合には、その種類・規模を明記してください。

(イ)予算希望額（原則として1件30万円まで）

- ① 使途は旅費、会場費、印刷費、講演謝金、郵送費、小額の茶菓子代、オンライン実施における必要経費など研究会実施に必要な経費に限ります。飲食費、懇親会費、交際費などには使えません。
- ② オンサイトで実施する場合の旅費は国立大学の旅費算出基準による金額を上限とし、以下を指針とします。
 1. 基本的に、実費を支給する。
 2. 懇親会費は含まないこと。

3. 航空券と宿泊がセットになったパック旅行を利用するなどし、できる限り安価にすませる努力をすること。
4. パックでない場合には、特別な事情がない限り宿泊代は1泊10,000円以下とすること。
- ③ 講演謝金は以下の金額（税別）を上限とします。研究成果発表…3万円/90分，2万円/60分 チュートリアル…5万円/90分，3万円/60分
チュートリアルは初学者向けの予稿執筆が義務付けられます。
- ④ 一般の参加学生に旅費の補助を行う場合は、神経回路学会の会員、および、この機会に会員になって頂いた方を優先する。
- ⑤ その他は、基本的に予算と社会通念上の常識の範囲内で各研究会の判断に任せる。

(ウ)世話人

世話人の中から連絡責任者を指定してください。連絡責任者は提案内容の照会、採択の可否の通知、補助金の受け渡しなどの窓口となります。なお、連絡責任者は日本神経回路学会の会員に限ります。

(エ)研究会テーマの趣旨と内容

研究会計画の趣旨、内容をなるべく具体的に書いてください。

3. 実施上の注意

- ・採択された場合、研究会の広報、実施に際しては、日本神経回路学会の主催あるいは共催であることを必ず明記してください。
- ・予算剰余金は返金して頂きます。

4. 報告書の提出

研究会の実施後1ヶ月以内に、学会へ実施報告書（プログラム等の実施詳細がわかる資料を添付）と決算報告書（領収書を添付）を提出していただきます。報告書が提出されない場合、ならびに適切な会計処理が行われていないと判断される場合には、補助金の返還を求めることがあります。

5. JNNS誌での報告

実施報告書、決算報告書に加えて、日本神経回路学会誌（JNNS誌）へ実施報告を寄稿していただきます。

6. 問い合わせ先 以下のアドレスにemailでお問い合わせください。

jigenn_query@umin.ac.jp

7. 担当

日本神経回路学会 戦略的企画・時限研究会担当理事
太田 桂輔（東京大学）、毛内 拡（お茶の水女子大学）

以上